

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月22日

計画の名称	桶川市宅地耐震化推進事業													
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	桶川市													
計画の目標	本計画は、宅地耐震化の推進を図るため第二次スクリーニング調査を行い、今後の滑動崩落防止対策につなげることで、災害に強い安全な地域づくりを推進する。 また、危険性が確認された場合は対策工事等に向けた検討を行い、安心安全なまちづくりを進めていく。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		17	A	17	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度当初	令和3年度末	令和5年度末
1	桶川市における大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画を作成する。			
	第二次スクリーニング計画の作成	0箇所	33箇所	33箇所
2	地盤調査及び安定計算により活動崩落のおそれがある個所を抽出する。			
	第二次スクリーニングの実施	0箇所	0箇所	2箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	桶川市	直接	桶川市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 策定及び第二次スクリーニン グの実施	桶川市	■	■	■			17	-	
											小計						17		
											合計						17		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合計画の事後評価として桶川市で実施	令和6年4月
	公表の方法
	市公式ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1に記載した平成22年度実施の埼玉県による第一次スクリーニング計画において大規模盛土造成地とされた33か所のうち、第二次スクリーニング計画にてこの33か所に係る優先度評価を桶川市が実施したところ、優先度評価指標が付されたのは最終的に8か所となった。 この8か所の内、一番優先度の高いB3の評価がされた箇所について、指標2に記載したとおり、スクリーニング調査を実施し、安定解析を行った結果、学識経験者より常時及び地震時の目標安全率を満足しており、対策工の必要性ならびに緊急性はないと評価された。 また、残りの7か所においても、第二次スクリーニング調査を実施した優先度以下であることから同様に学識経験者により対策工の必要性ならびに緊急性は小さいと評価され、本市における大規模盛土造成地の安全性について確認することが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

大雨時等、第二次スクリーニング計画にて優先度評価がされた市内8か所について市職員の巡回を実施し変状がないかを確認していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	二次スクリーニング計画作成		
	最 終 目標値	33箇所	
	最 終 実績値	33箇所	
2	二次スクリーニング実施		
	最 終 目標値	2箇所	第二次スクリーニング計画作成の結果、優先度指標が付された箇所が8か所となった。その内、一番高い優先度B3が2か所あり、先行して1か所調査した結果、学識経験者により常時および地震時の目標安全率を満足しており、対策工の必要性ならびに緊急性はないと評価され、他の優先度についても同様の評価とされたため。
	最 終 実績値	1箇所	